

2010年度

科目名	ゼミナール I		
担当教員	中山 貞敏		
配当	人社3	コード	33700
開期	通年	講時	水曜日3限
単位数			4
授業テーマ	ビジネス・考える力		
目的と概要	知識の獲得そのものより、必要に応じて知識を獲得できるエンジン(意志力と考える力)の養成に力を注ぎたいと思います。なぜならこの力こそがビジネスで求められる能力だからです。また、「面白くなければ学ぶ価値は無い」をモットウにします。(ただし「面白い=簡単」ではない！ ゼミ生に「しんどいけれど面白かった」といわれるゼミが理想)		
成績評価法	ゼミの場で発表や意見表明などゼミへの貢献度とレポートにより評価		
テキスト	適宜資料を提供します。		
参考書	その都度テーマに沿った参考書を紹介します。積極的に読み込みましょう。		
履修に当たっての注意・助言	ゼミでは、講義とは違い、作業も発表も主役は学生です。このことを十分自覚して取り組んでほしいと思います。また、ビジネスのスタイルに慣れてもらうため、各人の持ち回りで進行役・ゼミ記録作成などの役割を割り振ります。		
講義計画			
<p>ゼミの進め方</p> <p>前期⇒ビジネスに関する幾つかのテーマの中から、ゼミの研究テーマを設定していきます。そのテーマ沿った材料(本、ビデオなど)を教師が提供し、ゼミ生が追加調査・レポート・プレゼンテーション・討議などを行ってビジネスのセンスと力を高めていきます。テーマとしては、「地球温暖化と低炭素ビジネス」、「ブリックス諸国の台頭と資源・食糧の枯渇」、「少子高齢化社会とビジネス」など今後のビジネス環境に大きなインパクトを与えると考えられるものを候補として提供していきます。</p> <p>後期⇒前期のゼミや実習での体験の中から自らの興味を持ったテーマを選択して、調査研究しプレゼンテーションしてもらいます。この中から卒論のテーマもみえてきます。</p> <p>1回 ゼミ活動に関するガイダンス・お互いを知る 2回・3回 論文の書き方に関するレクチャーとテーマ設定のための材料提供 4回 各自の興味に基づくテーマ設定 5回から10回 研究の経過報告と議論・指導 11回から14回 研究発表と議論 15回から17回 地域研究実習や前期の研究の中から自らのテーマ設定(個人またはグループ) 18回から25回 経過報告と議論・指導 26回から29回 プレゼンテーションと質疑応答 30回 まとめ</p>			